

# 開腹手術を受けられる 様へ

パスコード:14004 世代:0

経過	入院日(手術前日)	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	退院後の診察		
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	退院日 月 日	月 日		
達成目標	手術の必要性・処置の必要性が理解できる		ベッド上で体の向きを積極的に変えることができる		歩行することができ排尿ができる		傷の痛みが自己にてコントロールできる		身の周りのことが自分でできる		退院指導が理解でき退院後の生活の不安が軽減する	[退院基準] 創部の異常がない	療養生活が継続できる 出血や腹痛がない 発熱がない
治療 処置 検査 薬剤 点滴	採血 入院時検温	内診 検温(朝・手術前・手術後、適宜)	採血 検温(朝・昼・夕) 退院まで毎日回診時に傷の確認をします	検温(朝・昼・夕) 回診	医師の判断によりお腹の管を抜きます 検温(朝・昼・夕) 回診	検温(朝・昼・夕) 回診	検温(朝・昼・夕) 採血 回診で傷を留めている鉤を抜きます	検温(昼) 回診	検温(昼) 内診 回診				<p style="text-align: center;"><b>退院後の療養生活上の留意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後2週間くらいは外出を避け、疲労を感じたら休みましょう。</li> <li>・退院後の初回受診を終えるまではシャワーにしてください。</li> <li>・手術を受けたことで、排尿や排便に關係する神経が傷つき弱くなっている可能性があります。そのため、便秘や下痢、膀胱炎の予防に心がけましょう。</li> <li>・性生活は退院後の初回受診までは控えていただき、経過が順調であれば診察後は手術前と変わりなく行なうことができます。</li> <li>・出血、腹痛、むくみ、風邪症状がない138度以上の発熱があるときには早めに受診し、医師の診察を受けて下さい。</li> </ul>
持参薬の確認をします 眠前に下剤を飲みます	(手術後)手術後、3日目まで点滴を続けてします	点滴3本と抗生剤(朝、夕)があります	点滴2本と抗生剤(朝、夕)があります	点滴2本あります									
食事	お昼からです 午後10時以降絶食です(飲水はできます)	絶飲・絶食です(手術の3時間前まで飲水できます)うがいはできます	朝に水またはお茶を飲みます 昼より流動食	3分粥食	5分粥食	全粥食	普通食						
安静度	医師より指示が無ければ院内自由です	手術後は傷に負担がかからないようにベッド上安静です  血液循環をよくするためにスタッフと共に麻酔が覚めたら体の向きを変えたりしましょう	まずはベッド上で座ることから始めます トイレ歩行開始です。順調なら病棟内歩行できます		院内自由です 体の調子に合わせて、少しずつ歩く距離を伸ばして行きましょう								
清潔	手術部位の毛の処理と臍掃除をします 処理後、お風呂に入ってください	手術後 適宜うがいをします 眠前 寝たまま洗面、歯磨きをします	まずはベッド上で座ることから始めます タオルで体を拭きます	洗面のお手伝いをします	傷の確認後、医師の許可でシャワーに入ります								
排泄		手術室から尿の管が入っているのでトイレに行く必要はありません	ベッドから動けるようになれば尿の管を抜いてトイレに行けます										
患者様及びご家族への説明	主治医より手術・治療についての説明があります 入院期間について説明します 名前確認のためにネームバンドをつけます 弾性ストッキングのサイズを測ります 手術前までの経口補水液の説明をします 術後に使用する物品を確認します 麻酔科からの説明があります 入院中や退院後の生活について、心配なことがあれば相談してください	ご家族の方は手術予定時刻の1時間前に来院していただきます 手術前にストッキングをはいていただきます  手術中、必ず一人は手術室の待合室でお待ち下さい  手術後適宜訪室し、手術後の経過を観察します 痛みの強い時はお知らせ下さい  手術後、医師からご家族へ手術経過について説明があります	面会時間は13:00~20:00です。		一日も早く元気な生活に戻れるように一緒に頑張りましょう。			退院後の生活について説明をします 傷のテープの説明をします *病状により退院日は変更することがあります	退院は午前中です				

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。